

## 施設評価 【One for all All for one～未来の鹿浜の子どもたちのために～】

**人権** 常に“人権”ということを頭に入れて保育してきた。

今年度は特に人権ということに意識を向け、毎月のミーティング時に足立区作成のガイドラインを読み合わせたり、研修に行き学んできた。

ただ、否定的な言葉を0にすることは難しい。なぜなら命に関わる危険な場面では、とっさに制止する言葉をかける必要があるため。命を守るため。しかしその後のフォローは丁寧に行っている。

子どもや保護者さんが安心して登園、預けられる保育園。“子ども主体の保育”“丁寧な保育”とは。を一年間職員全体で考えて保育してきた。

**環境** 今年度は怪我が続いていた為安全面を優先し、玩具や場所の制限をしていた。

ワンフロアなのでベビーゲートで仕切ったり、0歳児と1,2歳児分かれて生活するなどしていた。玩具は好きなように遊べるようにするが難しい時もあるが、来年度は子どもたちが選べるように選択肢を用意して子どもの主張を大切にしていきたい。

★施設評価の反省を踏まえ、今後も引き続き小さなことでもコミュニケーションを大切にして保育を行っていきたいと思います。子どもたちの最善の利益を日々考え、一人ひとりに寄り添ったアットホームな保育園を目指していきたいと思います。